

企業会計基準公開草案第 44 号（企業会計基準第 22 号の改正案）  
「連結財務諸表に関する会計基準（案）」等に対するコメント

企業会計基準委員会（ASBJ）は、連結財務諸表における特別目的会社の取扱いについて、国際的な会計基準とのコンバージェンスの検討を進めてきたが、国際会計基準審議会（IASB）の連結プロジェクトに関する作業計画が延期されたことから、短期的に一部の特別目的会社の取扱いの改正を行うため、9月3日、公開草案を公表した。

経理委員会では、これに対し、開発型特別目的会社の連結上の取扱いが明記されることは、比較可能性が向上することから賛成するとした意見を取り纏め、11月2日、ASBJ宛提出した。

---

企業会計基準公開草案第 44 号（企業会計基準第 22 号の改正案）  
「連結財務諸表に関する会計基準（案）」等に対するコメントについて

2010年11月2日  
社団法人 日本貿易会  
経 理 委 員 会

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

9月3日に貴委員会より公表されました掲題公開草案につきまして、当会において検討致しました結果、下記の通り意見を提出させていただきますので、今後の審議においてご配慮いただきたく、宜しく願い申し上げます

敬具

記

現行の会計基準では開発型の特別目的会社に対する連結上の取扱いが明示されておらず、連結するかどうかは財務諸表の作成者や監査人によってバラツキがあったが、本草案により当該問題が是正され財務諸表の比較可能性が向上することから、本草案を支持する。

また、連結の範囲に含めた特別目的会社に関するノンリコース債務の開示についても、注記と B/S の区分掲記の選択適用ができるとする本草案に異論はない。

なお、SPE を含めた連結の範囲は、連結財務諸表の根幹にかかわる問題であることから、引き続き IFRS とのコンバージェンスを積極的に進めて頂きたい。

以 上